

# 放射性物質の除染にご協力を

市は、電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質拡散の影響から、市民の健康と安全を守るため、今年1月に「生活空間における当面の除染方針」を策定しました。これまでも、子どもを優先的に放射線から守る対策を学校や保育園・幼稚園などを中心に放射線量の測定と除染を行ってきました。今後も、さらに市民の皆さんのご協力をいただきながら、除染作業を実施してまいります。今回は、地域などで安全に放射性物質の除染作業を実施する方法についてお知らせします。

## 放射線量の高い場所から除染

一般的に、軒下や雨どいの排水口、側溝など、雨水などが滞留しやすい場所で放射線量が高くなります

### ① 事前に放射線量の測定

市が貸し出している放射線量測定器などを活用し、除染前の放射線量の測定を行う

### ② 除染作業の準備

除染作業に必要な道具と服装を準備する

- 使用する道具
  - ・表土のすき取り：草刈り鎌、スコップ、くわなど
  - ・水洗浄：洗浄用ブラシ（デッキブラシ、タワシなど）、バケツ、じょうろ、ホースなど
  - ・収集：ほうき、ちり取り、ビニール袋、土のう袋

○服装：下の図の説明を参照

### ③ 除染作業

草刈りや洗浄・清掃、表土剥ぎなどその場所に合わせた除染を行う

### ○ 表土の除染

①土ほこりが立つ心配がある場所では、じょうろで水をまいてから作業を行う

②雑草を除去する  
③スコップや鎌などを使用して、土砂や芝の表土をすき取る

※場所や土質によって放射線量の浸透状況も異なる。市の除染作業では、おおむね表土を10<sup>cm</sup>程度すき取ることができた  
④雨どいから雨水が集中して落下する場所は、スコップなどを使用し表土だけでなく少し深めに掘削する

- ※除染する場所が砂土や砂利の場合は、より深く放射性物質が浸透している。さらに深く粘土質のところまで掘り下げる必要がある
- ⑤雑草の根や芝に付着している土は土砂に、草は可燃ごみへと分別する
- ⑥土砂の埋設場所は、できるだけ人が立ち入る機会が少ない場所を選ぶ
- ⑦土砂を埋設する際は、放射線物質が周囲に流出しないようする。ビニールなど遮水性のある物で幾重かに包み埋設する
- ※袋などに包む場合、覆土作業時における袋の破損と汚染土の流出を防ぐため、余分な空気が入らないようしっかりと口を結ぶ
- ⑧汚染土を埋設する際は、汚染土がすべて地中に埋まるように掘削し、30<sup>cm</sup>程度覆土する事で放射線量が下がる
- ※覆土する場合は、掘削した表土を先に埋め戻し、汚染されていない底にあった土を最後に上に被覆する。雨水の流入防止と埋設場所を明確にしておく必要があることから、掘削時の残土を利用して盛土にする下の写真を参照)
- ◎埋設した場所が明らかに分かるように表示しておく



除染後の盛土

### ○ 側溝やアスファルト舗装の除染

①雑草やよけ、汚泥を除去する  
②土ほこりが立つ心配がある場所では、じょうろで水をまいてから作業を行う

③水洗浄する際は、水が流れる経路を事前に確認し、周りに集めるようにブラシで洗浄する

※砂泥などを水圧で周囲に散らさないように、最初から高水圧での洗浄をせず、通常の水圧で排水経路を確認しながら作業する。また、雨がっぱとゴーグルは必ず着用する

## 除染時の服装

- 頭部…帽子をかぶる
- 顔…ゴーグルやメガネで目を守り、マスクでホコリを吸い込まないようにする
- 体…ゴム手袋を着用し、長靴を履く。水洗浄作業の際は、水をはじく雨がっぱなどを着用
- 服装
  - ・肌を露出せず、動きやすい服装を選ぶ
  - ・雨どいなどの高所作業時は、ヘルメットを着用し安全な服装を心がける



【基本的な服装】



【水洗浄時の服装】

- その他
  - ・作業後は、手はせっけんでしっかりと洗い、うがいをする
  - ・衣類や長靴についた汚れは外で払い、室内に持ち込まないように配慮する
  - ・一般的な除染作業をした場合、作業に使用した衣服は、水洗いで再使用が可能
  - ・マスクは、耳のひもをつまむようにして外し、ごみ箱に捨てる

- ④アスファルトなどに付着している放射性物質は飛び散るので、作業する人への跳ね返りや周囲に水がかからないように注意する
- ⑤側溝や排水口にたまったごみや落ち葉などは、流さずに集めて取り除く
- ※以降の手順は「表土の除染」の⑤～⑧までと同じ

### ④ 処分・保管

除染作業で発生した土壌などは、現在処理施設がないことから、発生した敷地内に仮埋設します。本処分については国から指針が示され次第お知らせします

### ⑤ 除染効果の測定

除染後に効果が現れているか、空間線量を測定して確認と記録をする

今回は生活空間での除染方法をお知らせしました。今後は、各地区で放射性物質対策などの説明会を開催し詳しくお知らせします。

■問い合わせ先 本庁生活環境課環境係（内線213）

### 薪ストーブなどを使用している世帯へのご願い



薪ストーブを使用した際に生じる灰から、放射性物質が検出された事例が報告されています。灰の処理方法については、安全性が確認された場合を除いて、畑や庭に散布しないで次のとおり保管をお願いします。

- ・ビニール袋などに入れて、周囲への飛散や雨などによる流出を防止したうえで、人が近寄らない場所または土のうなどで放射線の遮断ができるように保管してください。
- ・灰の収集については対応を検討中ですので、「ごみステーション」に出さないうでください。対応が決まり次第お知らせします。

■問い合わせ先 本庁生活環境課生活衛生係（内線216）